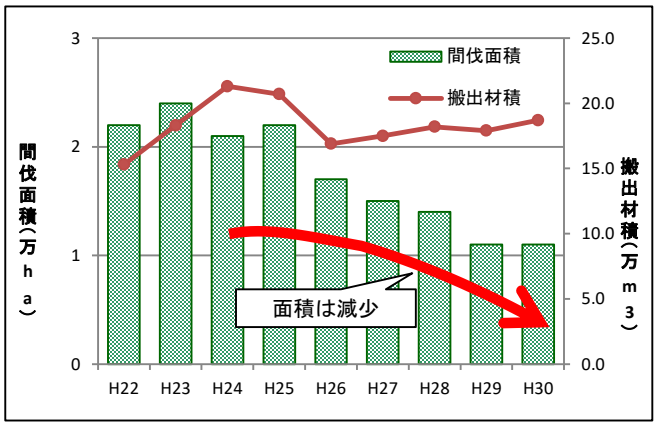
県内の「林業」の現状

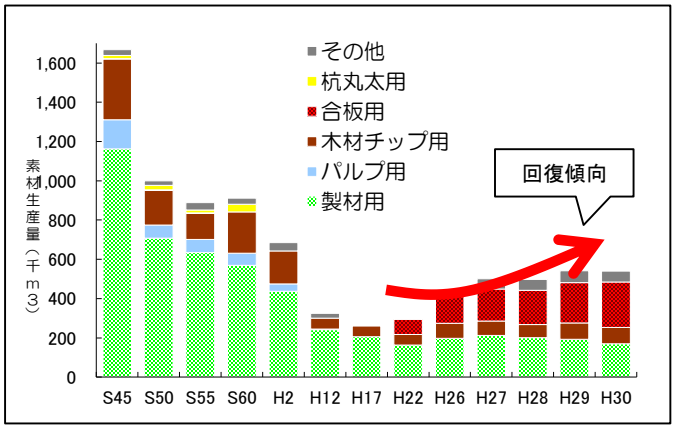
間伐面積は減少傾向の一方で、間伐材の搬出量や素材生産量は増加傾向。育てる時代から利用の時代へ。

間伐面積及び間伐材搬出材積の推移



林務部業務資料

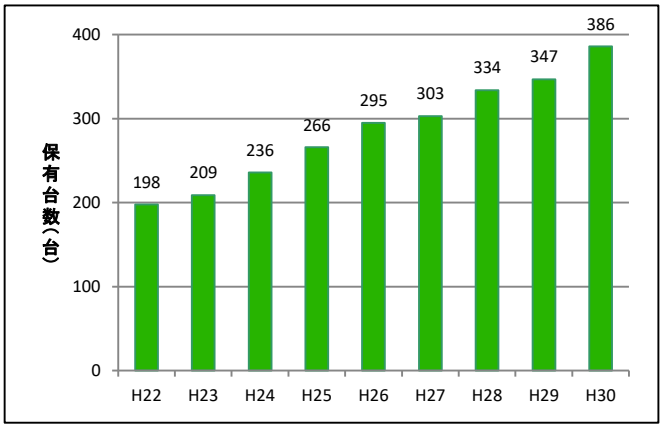
素材生産量の推移



農林水産省「木材需給報告書」及びH27以降は長野県林務部調べ「木質バイオマス生産量」を加算

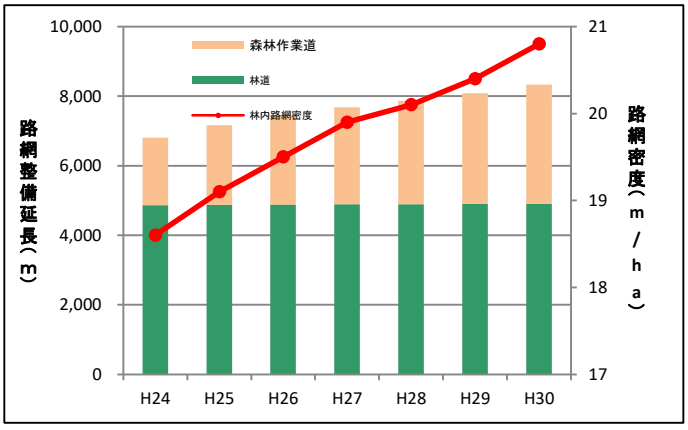
高性能林業機械保有台数、路網整備ともに着実に進展。

高性能林業機械の保有台数の推移



林務部業務資料

林道・作業道整備、林内路網密度の推移

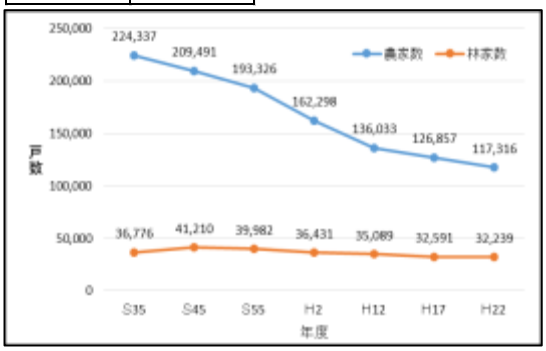


林務部業務資料

山村地域の過疎化による森林管理の空洞化への懸念

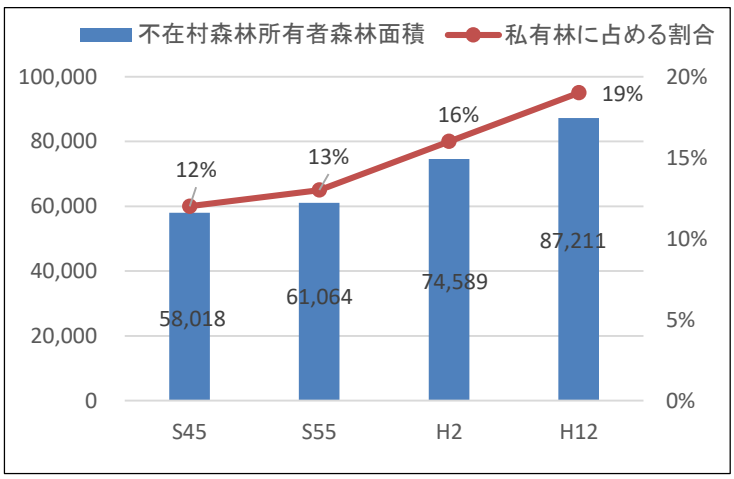
山村人口の推移

全県人口	2,099
山村人口	162
割　　合	8%



出典：国勢調査（H27年）

不在村森林所有者の推移



出典：世界農林業センサス

県内の林業の現状

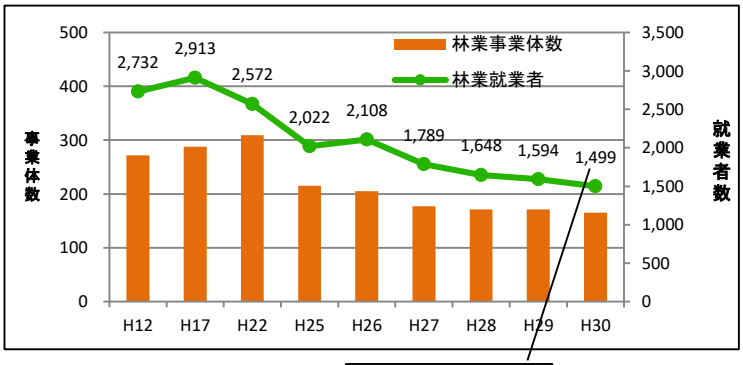
- 現場作業に従事する就業者は減少傾向で推移。特に保育作業への従事者の減少が課題。
- 通年雇用化などの明るい兆しは見られるものの、林業と全産業を比較すると、労働災害は15倍、平均所得は7割程度となっており、就業環境の改善が急務。

生産年齢人口と林業就業者の人数

生産年齢人口	1,196129人
うち林業就業者	2,688人
林業就業者の割合	0.2%

出典：国勢調査（H27年）

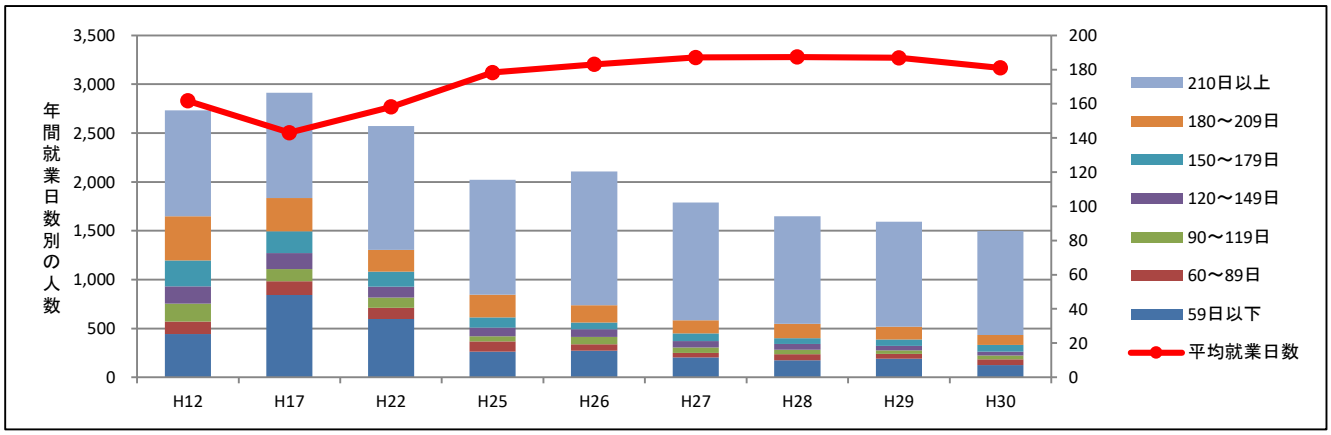
県内の現場作業に従事する林業就業者の推移



出典：林業事業体調査

保育　975
素材生産　524

年間就業日数別の人数の推移



出典：林業事業体調査

労働災害発生率（全国）

区分	死傷年千人率
全産業	2.2
林業	20.8
木材・木製品製造業	10.6

出典：林野庁資料
注）・厚生労働省「業種別死傷年千人率」（H31/R元年）
・死傷年千人率とは、労働者1000人当たり１年間に発生する労働災害による死傷者数（休業４日以上）を示したもの。

平均所得（全国）

区分	所得
全産業	432万円
林業	340万円

出典：林野庁資料
注）・国税庁「民間給与実態統計調査」（H29年分）
・全産業は、1年を通じて勤務した給与所得者の平均給与。
・ 林業は、H30年度アンケート調査結果における年間就業日数210日以上の者について、年齢別、所得別回答者数により試算。

- **県内の広大な森林の管理や森林資源の利活用を図っていくため担い手については、質・量ともに高めていくことが必要**

〔R元年度の林業の求人倍率は2.08倍（林業労働財団資料）となっているが十分な応募が得られていない状況〕